

大正五年十月二十七日
保健衛生調査會第一回報告書
本會ノ設立
第一節 本會ノ設立

保健衛生調査會第一回報告書

第一章 本會ノ設立

歐洲ニ於ケル重要ノ人口問題ハ生産率ノ減耗ニ在リ其ノ程度ヤ縱令仏國ノ如ク甚シカラ
ストスルモ全歐ノ各國何レモ生産率ノ減耗セサルハアラヌ之ヲ英國ニ觀ルニ一千八百七
十一年以降五ケ年ニ在テハ平均人口千ニ付三五。五ヲ最高トセシニ一千九百十二年ニ至
リテハ二三・八ニ降下シ最高ノ百ニ對スル六十七ト為リ獨逸ハ英國ニ遜ルハ五ト五年ナ
ル一千八百七十五年以降ノ五ケ年ニ於テ平均人口千ニ付三九。二ヲ最高トセシモノ一千
九百十二年ニ至リテハ二八・三ニ降下シ最高ノ百ニ對スル七十二ト為リ左レハ歐洲諸
國ニ於テハ之カ原因ヲ調査研究シ進テ之カ除却防遏ニ努メテアリ而カモ生産率ノ減耗
此ノ如ク甚シキニ拘ハラヌ尙其ノ人口ノ減少ヲ見サルハ莫ニ死亡率ノ低下著シキニ因ラ
スハアラヌ即チ近世ノ最高率ナル一千八百七十一年以降五ケ年ノ平均仏國ハ人口千ニ
付二五。〇ナリシモノ一千九百十二年ニハ同一七。五ト為リ獨逸ハ同一二八。二ナリシモ
同一五。六ト為リ英國モ亦同一二。〇ナリシモノ同一三。三ト為リ之ヲ各最高ノ百ニ對
スル比例ト為セハ仏國ハ七十。獨逸ハ五十五。英國ハ六十ニ當レリ故ニ其ノ人口増殖率
ハ一二國以外ニ於テハ依然トシテ變化ナク寧ロ却テ近ク其ノ増多ヲ見タル邦國サヘア
ナリ

テ本邦ノ情況ヲ見ルニ生産率ノ減耗未ダ來ラヌ却テ年々上昇ノ觀アルヲ以テ表面蓋ニ
佳良ノ状態ナルカ如シト雖更ニ觀察一步ヲ進ムニハ頗ル瘰癧ニ堪ヘサルモノアリ即チ本
邦ノ婚率生産率ノ推移ハ恰モ半世紀前ノ英國ニ酷似シ晩婚ノ増加ハ既ニ歴々トシテ証
スヘキモノアリ若シ文化ノ進歩ニ隨伴スル惡影響ノ襲來スルコト東西其ノ一ニスル
トモハ生産率ノ減耗ヲ來スコト亦決シテ遠カラサルヲ思ハサルヘカラス而カモ英國ニ於
テハ半世紀前ノ當時既ニ死亡率低下ノ道途ニ在リシニ本邦ニ於テハ今ヤ稍々上昇ノ傾向
アルカ如キ是レ豈ニ等閑ニ付スヘカラスナル現象ナラスヤ
更ニ年齡別死亡率ニ就テ觀察スルニ英國及獨逸ニ於テハ幼者並青年者壯年者ノ死亡著シ
ク減少シタルコト餘死亡率低下ノ原因ト為リ仏國ニ於テハ幼者ノ死亡ノ著シク減少シタ
ルコト其ノ原因ヲ為セリ然ルニ本邦ニ於ケル近年ノ年齡別死亡率ヲ見ルニ青年者壯年者
就中幼者ノ死亡著シク増加セルコト莫ニ餘死亡率増加ノ原因ヲ為シ其ノ關係全ク英仏獨
ノ三國ト正反對ヲ示セルハ殊ニ注意スヘキ重大事實ナリトス
本邦ニ於ケル死亡率ノ前頭三國ニ比シ低キハ蓋ニ老若者ト一部ノ幼者トアルノミニシテ
青年者壯年者ノ死亡率ニ至リテハ三國ニ比シ其ノ二倍乃至三倍ノ多キニ達セリ國民
ノ中堅トシテ一面ニハ國防ノ任ヲ負ヒ一面ニハ生産ノ原動力タルヘキ重要ノ地位ニ在ル

者ニシテ其ノ死亡率ノ高キコト斯ノ如シ國家ノ不祥蓋シ之ヨリ大ナルハナカルヘシ惟フニ
國運ヲ伸暢シ國力ヲ充實スル進テ國民ノ健康状態ヲ調査シテ之ヲ保維スルニ必要ナル事項
ヲ明ニシ更ニ國民ノ健康ヲ毀傷スヘキ原因ヲ探究シテ豫メ其ノ逼迫ニ備ヘ若クハ之ヲ除
スルノ策ナカルヘカラス保健調査ノ至要ナル所以矣ニ此ニ存ス

歐洲ニ於ケル乳児及小児死亡ノ減少ハ主トシテ乳児及小児保護ノ結果ナリト認メラル就中
獨逸ノ如キハ生産千ニ付一歳未満ノ乳児死亡二百五十乃至三百ナリシモノ今ヤ百六十
以下ト為リ英國ノ如キ最近其ノ率僅ニ九十五ト為レリ然ルニ本邦ニ於テハ生母親ヲ育ス
ル良習慣アルニ拘ハラヌ明治二十一年ニハ死亡率百十ナリシモノ漸次增高シテ今ヤ百六十
ヲ超ユルニ至レリ殊ニ一歳以上ノ小児死亡率ニ至リテハ其ノ高キコト他ノ文明國ニ比類ナ
ク乳児ノ死亡率最高キヲ以テ知ラレタル塊地利ニ比スルモ尙遙ニ高キヲ見ル是レ真ニ容易
ナラサル一大事ニシテ深ク意ヲ致サレハカラサルナリ若シ能ク其ノ原因ヲ探究調査シ之
ニ對スル適當ノ施設ヲ策スルヲ得ヘ以テ全死亡率ノ割合ヲシテ著シク減少セシムルコトヲ
得ヘク又以テ青年者壯年者ノ健康ノ基礎ヲ樹立スルコトヲ得ム

更ニ歐洲ニ於ケル青年者壯年者ノ死亡率ニ就キ之ヲ觀ルニ其ノ減少ヤ固ヨリ諸般ノ原因ニ
基クト雖就中著明ナルモノヲ結核性疾患ノ減少ト為ス然レ本邦ノ情態ヲ見ルニ結核性疾患
ハ年々ニ増加シ其ノ青年者及壯年者ヲ侵スコトノ多キ是レ亦他ノ文明國ニ其ノ此ヲ見ス而
カモ生殖時代ニ於ケル女子ニ於テ比較的其ノ數多キヲ見ルノミナラス農村ニ於テ同病ニ因
ル惨害亦少カラサルカ如キハ真ニ憂フヘキ情態ナリト謂フヘシ即チ此等ニ関スル原因ヲ精
密ニ調査シ然ル後之カ防止及制遏ノ策ヲ講スルハ今日ニ於ケル國家並社會衛生上焦眉ノ急
務ト謂ハサルヘカラス

以上概説スル如ク我國民ノ健康状態ハ今ヤ大ニ考慮ヲ要スヘキモノアリ各種ノ方面ニ涉リ
テ學理的ニ仔細ニ調査攻究ヲ尽シ以テ之カ改善ノ方途ヲ定ムルニ非スニハ終ニ百年ノ大計
ヲ要ルコトナキヲ保セス即チ國民健康ノ状態ヲ更ニ精細ニ調査シ國民ノ健康ヲ毀損スヘキ
原因、其ノ制遏除却ノ必要ナル事項、並國民ノ健康保持ト増進トニ必要ナル事項ニ付之カ
調査攻究ヲ要スルハ勿論殊ニ乳児幼者青年者壯年者ノ死亡率增高ノ原因ヲ調査シテ之カ防
遏ノ方策ヲ定ムルノ外國民保健上最も重要ナル關係ヲ有スル肺結核花柳病等ノ豫防撲滅
飲食物殊ニ營養物ノ廉價供給方法、都市農村ニ於ケル生活改善ノ研究等ハ之レモ当然企圖
セラルヘキ事項ナリト信ス而シテ其ノ調査攻究ハ一ニ統計的調査ニ依リテ實情ヲ明ニスル
ト共ニ之カ原因ヲ求探究スルニ努メ一ハ學術的調査ニ依リテ學說並先進國ノ施設ヲ研究
調査シ必要ニ応シ實際ニ就キ調査ヲ為スヲ要スヘシ而シテ之カ為特ニ專門ノ知識ヲ有スル
者ヲシテ專ラ之ニ當ラシメ順ヲ追テ著々調査ノ進歩ヲ期セント欲ス是レ本會ノ設立セラレ
タル所以ナリトス

一木内務大臣ハ左ノ示ヲ為セリ

保健衛生調査会開設ノ初ニ當リマシテ各位ト相会シテ一言致シマヌル機会ヲ得マシタコトハ私ノ深ク欣幸ト致ス所デアリマス我邦ノ衛生上ノ施設ハ年ト共ニ進歩致シテ居リマスルノニ拘ハラヌ之ヲ統計ニ徴シマヌルト一般ノ死亡率ハ却テ増加ノ傾向ヲ示シテ居マヌ就中乳児、幼児、青年者、壯年者ノ死亡率ニ至リマシテハ著シク増加ノ傾向ヲ呈シテ居リマス又結核諸症、花柳病、トラホトトモ外精神病諸如キモノカ国民ノ健康ヲ害シマヌルコトカ益々著シクナラムトスルノ有様ヲ呈シテ居リマス加之国民ノ体格カ漸ク低下セムトスルカ如キ有様ノアリマスルロトハ寔ニ憂々シク看過スヘカラサルノ現象デアリマス、就テハ国民ノ衛生ノ実状及ヒ其不良ヲ来シマヌル所ノ原因ヲ探究致シテ進テ是カ豫防制圧ノ方法ヲ攻究致シ又国民ノ健康保持ニ必要ナル事項ヲ調査致シマシテ諸般衛生上ノ改善ニ資スルト關フコトハ實ニ目下ノ急務デアルト信スルノデアリマス此度保健衛生調査会ヲ設ケマシテ専門ノ學識経験ヲ具ヘラルル各位ヲ煩ハスニ至リマシタ趣旨ハ全ク之ニ外ナラヌノデアリマス此調査ハ學理ニ照シ、實際ニ徴シテ精密ニ審査ヲ致シマシテ事實ノ真相ヲ明ニ致シ之ニ対応スル所ノ最善ナル方法ヲ計画セムトスルモノデアリマシテ其事タル極メテ重要ナルト同時ニ又極メテ困難ナルコトデアルト存スルノデアリマス唯是カ經費ノ充分ヲナイト言フコトハ甚々遺憾デアリマヌルケレトモ目下國費多端ノ折柄實ニ已ムヲ得サル次第デアリマス此辺ハ御諒察ノ上何卒諸君ノ御尽力ニ依リマシテ此調査ノ実施ヲ恭クルニ至ラムコトヲ切ニ希望シテ止マナイノデアリマス效ニ会フ創ムルニ際シマシテ調査会ヲ開設スルニ至リマシタル所ノ趣旨並ニ之ニ就イテ持ツテ居リマヌル所ノ希望ヲ一言シテ閉会ノ辭ト致シマス